

もみのきっず 支援プログラム



作成日 令和7年3月25日

もみのきっず 理念

私たちは、作業療法士、理学療法士、言語聴覚士、保育士など専門的な立場から、子どもの「その子らしさ」を大切にしています。

子どもたちが持っているそれぞれに異なる感性と個性を尊重し、『楽しい！』『大丈夫！』『できた！』を子ども自身が実感できるように支援します。




支援方針

私たちは、作業療法士、理学療法士、言語聴覚士、保育士など専門的な立場から、子どもの「その子らしさ」を大切にしています。

子どもたちが持っているそれぞれに異なる感性と個性を尊重し、『楽しい！』『大丈夫！』『できた！』を子ども自身が実感できるように支援します。



令和7年度 運営方針



Co-Create

コ・クリエイト



令和7年度 運営方針

私たちは、療育を「これからどんな自分になりたいか」を共に考え、創り上げるプロセスと捉えます。

そのために、“**Co-Create**”（共に創る）という運営方針を掲げ、子ども達が主体的に意思決定し、自ら望む未来へ進めるよう支援することを大切にします。

私たちは、スタッフ・組織がともに成長し、新しい可能性を生み出すことを目指します。



4つの柱

情熱

Passion



意思決定支援

Decision-Making Support



エンパワーメント

Empowerment



価値への取り組み

Innovation



もみのきっずの目標

私たちは、子どもたちと一緒に、「どんな自分になりたいか」を共に考え、子ども自身が主体的に意思決定し、自ら望む未来へ進めるよう支援します。「できるかどうか」ではなく、「どうすればできるか」を考え続け、子ども達が希望をもって成長できるように伴走します。

私たちは、子ども達が自らの力を発揮できる環境を整え、なりたい自分になるためのスキルを身につけられるように支援します。従来のやり方にとらわれず、子ども一人ひとりに合った最善の方法を共に探します。

私たちは、スタッフが互いの強みを活かし、もみのきっずの組織力が最大化できるように力を合わせて取り組みます。「もみのきっずを、共に創る」という意識で、互いの力を引き出します。期待よりもちょっと上の新しいことに挑戦するためにも、業務改革にも積極的に取り組みます。

営業時間

9:00 ~ 17:30

送迎について

○児童発達支援 送迎はありません

○放課後等デイサービス

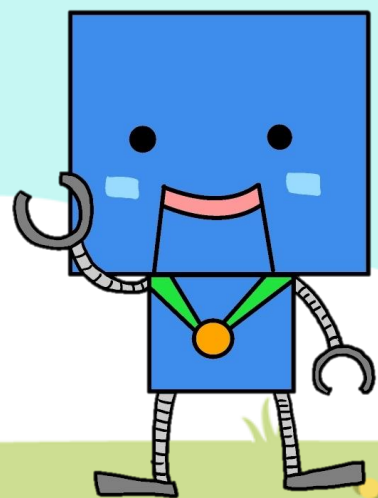
集団療育コースのみ、送迎エリア内へのお迎えをしています。
詳しくは、事業所へお問い合わせください。



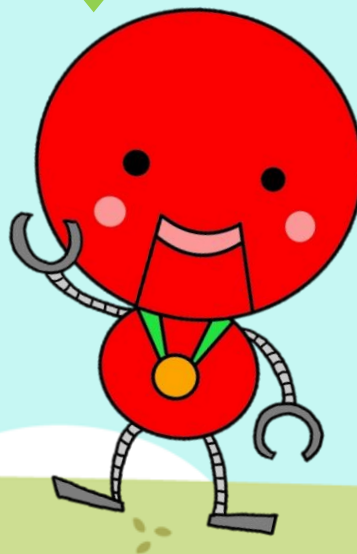
もみのきっずの めざす療育

子どもも
保護者も
支援者も

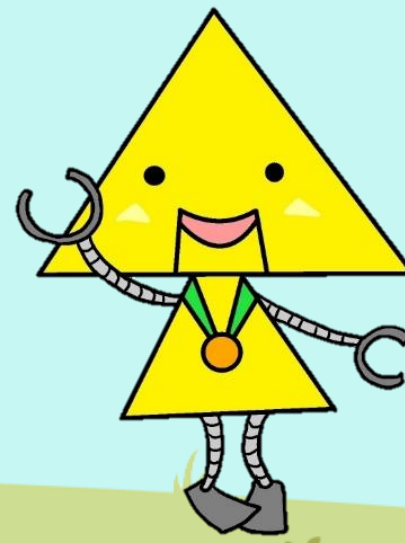
たのしい!



だいじょうぶ!



できた!



本人支援【健康・生活】

健康な心と体を育て、健康で安全な生活を作り出すことを支援します。利用時には健康状態の確認を行い、心身の異変の把握に努めます。

日常生活や社会生活を営めるよう、それぞれのこどもが持つ機能をさらに発達させながら、こどもに適した身体的、精神的、社会的支援を行います。

睡眠、食事、排泄等の基本的な生活習慣をつくり、健康状態の維持・改善に必要な生活リズムを身につけられるよう支援します。楽しく食事ができるよう、口腔内機能・感覚等に配慮しながら、姿勢保持、手指の運動機能等の状態に応じた自助具等に関する支援を行います。衣服の調節、室温の調節や換気、水分摂取など、病気の予防や安全への配慮を行います。

生活に必要な基本的技能を獲得できるよう、環境の工夫を行いながら、こどもの状態に応じて適切な時期に支援をします。また、障がいの特性に配慮し、時間や空間を本人に分かりやすく構造化します。構造化や視覚支援をすることでお子さんが主体的に活動できることを目指します。

本人支援【運動・感覚】

姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善や習得、関節の変形の予防、筋力の維持・強化を図ります。

日常生活に必要な運動能力の向上のための支援を行います。

視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるように、遊び等を通して支援します。

感覚や認知の特性(感覚の過敏や鈍麻)を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整等の支援を行います。



本人支援【認知・行動】

認知の特性を踏まえ、自分に入ってくる情報を適切に処理できるよう支援します。また、認知の偏り等の個々の特性に配慮し、こだわりや偏食等に対する支援を行います。

物の機能や属性、形、色、音が変化する様子、空間・時間等の概念を形成することによって、それを認知や行動の手掛かりとして活用できるよう支援します。

数量、形の大きさ、重さ、色の違い等の習得のための支援を行います。

感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難などから生ずる不適切行動の予防と、適切な行動への支援を行います。

本人支援【言語・コミュニケーション】

言葉だけでなく、表情や身振り、各種の機器等を用いて意思のやりとりが行えるようにするなど、コミュニケーションに必要な基礎的な能力を身に付けることができるよう支援します。話し言葉や文字・記号等を用いて、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりするなど、言語を受容し表出することができるよう支援します。

コミュニケーションを通して、状況や自分の行動等に対応した言語の概念の形成を図り、体系的な言語を身に付けることができるよう支援します。

人との相互作用を通して、相手と同じものに注意を向け、その行動や意図を理解・推測するといった共同注意の獲得や場面に応じた言動・対応など人との関わり方についての学び等を含めたコミュニケーション能力向上のための支援を行います。

指差し、身振り、サイン等を用いて、環境の理解と意思の伝達ができるよう支援します。

機器(パソコン・タブレット等のICT機器を含む。)等のコミュニケーション手段を適切に選択、活用し、環境の理解と意思の伝達が円滑にできるよう支援します。

場や相手の状況に応じて、主体的にコミュニケーションを展開できるよう支援します。

障がいの特性に応じた読み書き能力の向上のための支援を行います。

本人支援【人間関係・社会性】

こどもが信頼感を持つことができるように、環境に対する安心感、人に対する信頼感、自分に対する信頼感を育む支援を行います。自身の感情が崩れたり、不安になった際に、大人が相談にのることで安心感を得たり、自分の感情に折り合いをつけたりできるよう「安心の基地」の役割を果たせるよう支援します。

自身の感情や気持ち、生理的な状態像に関心を持ち、その変化の幅を安定させることに興味を持つことができるよう援助し、変化の幅が小さく安定した情緒で生活ができるよう支援します。

他者の気持ちや意図を理解し、他者からの働き掛けを受け止め、それに応ずることや場に応じた適切な行動ができるように支援します。

遊びを通じて人の動きを模倣することにより、社会性の発達や対人関係の構築を支援します。感覚機能を使った遊びや運動機能を働かせる遊びから、見立て遊びやつもり遊び、ごっこ遊び等の象徴遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援します。一人遊びの状態から並行遊びを行い、大人が介入して行う連合的な遊び、役割分担のある遊び、ルールを守って遊ぶ協同遊び等を通して、徐々に社会性の発達を支援します。

自分のできることや苦手なことなど、自分の行動の特徴を理解し、自分を肯定的に捉えられる機会を通じて、気持ちや情動を調整し、状況に応じた行動ができるように支援します。

集団に参加するための手順やルールを理解し、こどもの希望に応じて、遊びや集団活動に参加できるよう支援するとともに、共に活動することを通じて、相互理解や互いの存在を認め合いながら、仲間づくりにつながるよう支援します。

家族支援

ご家族の子育てに関する困りごとに対する相談援助や、子どもの発達上のニーズについての気づきの促しとその後の支援、子どもの支え方や食事のとり方等の具体的な介助方法についての助言・提案を行います。

保護者同士の交流の機会の提供やきょうだいに対する相談援助を行います。

子どもの発達状況や特性の理解に向けた相談援助、講座、ペアレント・トレーニングの実施をします。

ご家族に対し、支援場面を通じた学びの機会の提供を行います。



移行支援

進路先や移行先への情報提供や相談対応を行います。

併用利用先や園・学校との情報共有や支援のすり合わせ等を行います。

進路や移行先の選択についての本人や家族への相談援助を行います。

地域支援・地域連携

子どもが通う学校や放課後児童クラブ等との情報連携や調整、支援方法や環境調整等に関する相談援助、放課後等デイサービス計画の作成又は見直しに関する会議の開催などを行います。

子どもを担当する保健師や相談支援事業所、子どもが通う医療機関等も関係機関との情報連携や調整を行います。個別のケース検討のための会議の開催などを行います。

職員の質の向上

- ①虐待防止(身体拘束)に関する研修
- ②事故防止に関する研修
- ③感染症に関する研修・訓練
- ④防犯に関する研修・訓練
- ⑤災害に関する研修・訓練
- ⑥特性や発達に関する研修
- ⑦効果的な声のかけ方、関わり方に関する研修
- ⑧外部講師による研修・指導・助言

主な行事等

- ①もの作りに関するイベント(保護者や関係者の参観)
- ②季節に関するイベント
- ③運動に関するイベント(保護者や関係者の参観)
- ④卒業・卒園セレモニー
- ⑤関係機関の支援者向け学習会

